

# 一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会

## 2023年度事業報告

### 1. 建設産業に関する調査研究・提言

#### (1) 建設産業に関する調査研究について

会長等が、一般社団法人全国建設産業団体連合会の活動に参加し、建設産業の全国的な状況について把握した。

- ① 全国建産連総会（6月28日）
- ② 生産システム委員会（8月18日、3月15日）
- ③ 会長会議（9月26日）

#### (2) 提言・要望について

政治・行政機関と意見交換会を実施し、建設産業の現状や改善策について議論するとともに、埼玉県予算に対する要望を行った。

- ① 立憲民主党との政党要望意見交換会（9月5日）
- ② 公明党埼玉県議団との意見交換会（9月15日）
- ③ 自由民主党埼玉県支部連合会との意見交換会（9月25日）

#### 【要望事項】

- 1) 公共事業予算の増額確保と県内業者の受注の拡大について
- 2) 働き方改革の推進について
- 3) 専門工事業における価格転嫁の推進について
- 4) 建築設計業務における適切な入札参加要件の設定と入札制度改革について
- 5) 測量・地質調査・設計等の委託業務における最低制限価格の引き上げ等について

### 2. 建設産業に従事する者の能力開発及び経営改善の支援

#### (1) 研修会等実施状況について

- ① 建設産業研修会（第1回）の開催（11月9日） 参加者34名  
演 題 『若手技術者の現場管理能力アップ研修』  
講 師 株式会社建設経営サービス 提携講師 黒岡 茂雄 氏
- ② 建設産業研修会（第2回）の開催（1月16日） 参加者23名  
演 題 『工事成績アップのポイント』  
講 師 株式会社建設経営サービス 提携講師 石岡 秀貴 氏
- ③ ドローン研修会の開催（職場定着支援事業）  
・ドローン体験会 参加者65名（9回合計）  
日 程 8月21日～22日 9月5日～6日 12月7日～8日  
※各2日間とも3回研修を行ったため、合計9回開催

・ドローン実務研修会

(栃木県建設産業団体連合会、茨城県建設産業団体連合会との共催で開催。栃木・茨城県内会場で実施)

日 程 8～10月開催(合計3回)

備 考 埼玉・栃木・茨城3県より受講者を受け付けた。

④ 新入社員研修の開催(職場定着支援事業)

講 師 富士教育訓練センター 花輪 孝樹 氏

日 程 6月19日～20日 参加者 16名

⑤ フォローアップ研修の開催(職場定着支援事業)

講 師 富士教育訓練センター・株式会社建設産業振興センター講師

日 程 10月17日～18日 参加者10名

⑥ 現場指導者育成研修の開催(職場定着支援事業)

前半開催分(6～8月:ポリテクセンター助成事業)

講 師 株式会社日本コンサルタントグループ 齋藤 明彦 氏

日 程 3回開催(6月27日、7月25日、8月29日)

参加者合計34名

後半開催分(9～11月:埼玉労働局助成事業)

講 師 株式会社インソース 栗原 俊哉 氏

日 程 3回開催(9月12日、10月13日、11月14日)

参加者合計54名

⑦ ベテラン世代との関わり方(年上部下・協力会社員)研修の開催(職場定着支援事業)

講 師 株式会社インソース 栗原 俊哉 氏

日 程 6月12日 参加者20名

⑧ 若手技術者・技能者を中心とした安全衛生レベルアップ講座の開催  
(職場定着支援事業)

講 師 株式会社建設産業振興センター 提携講師 中込 平一郎 氏

日 程 4回開催 参加者79名(4回合計)

(9月26日、10月24日、11月11日、12月19日)

⑨ 若手職員向けのWindowsスキルチェックセミナー(ポリテクセンター助成事業)

講 師 一般社団法人全国建設産業団体連合会 山田 安良 氏

日 程 11月29日、30日 参加者25名

(2) 埼玉県建設産業担い手確保・育成ネットワーク事業について

各々の構成団体が、担い手育成のための研修等の事業を実施した。

実務担当者による幹事会を開催し、入職促進のためのホームページのコンテンツの充実を図った。

ホームページの開設:2023年4月

幹事会(4月27日、7月27日、10月25日、1月30日)

総会(2024年3月28日)

### 3. 建設産業に関する啓発宣伝事業

#### (1) 季刊誌『建産連NEWS』の発行について

第176号(4月)から第179号(1月)まで各2,000部発行し、会員団体及び官公庁等へ配布した。

#### (2) 第45回「埼玉の建設産業」ポスター・絵画コンクールの実施

##### ① 応募状況

今年度も幼稚園児を加えて、ポスター・絵画を募集した。

50校から448点の応募があり、さいたま市教育委員会等の審査員による審査を経て入賞作品72点を選定した。

##### ② 優秀作掲示

優秀作品は、12月から県庁、熊谷市立文化センター、所沢駅東口市民ギャラリー、建産連会館ロビーで展示を実施した。また、連合会ホームページでも公開した。

##### ③ 建産連NEWS特集号(別冊)の発行

全入賞作品を掲載した建産連NEWS特集号を発行し、作品応募のあった保育園・幼稚園、小・中学校等や関係機関に配布した。

##### ④ カレンダーの作成

入賞作品を掲載したカレンダーを作成し、関係各所に配布した。

##### ⑤ 会員団体、関係機関との連携

埼玉県建設業協会と連携し、会員企業の工事現場の仮囲いに応募作品を掲示する方向で検討している。

また、国土交通省江戸川河川事務所と連携し、2024年2月から当事務所が発注した工事現場に優秀作品を掲示した。

工事名：江戸川右岸小平地先堤防整備工事

江戸川右岸築比地地先外河道掘削工事

### 4. この法人が所有し、会員建設産業団体が入居する建物の運営

(埼玉建産連会館及び埼玉建産連研修センターの管理運営)

#### (1) 研修センターの利用状況について

新型コロナウイルス感染症が5類になり規制緩和されたことや新規顧客の開拓などにより、おおむね流行発生前の売上まで回復することができた。

#### (2) 設備修繕等について

老朽化している研修センター空調設備について、BIMを使って設備設計を実施した。今後、昨年度策定した長期修繕計画に基づき順次修繕工事を実施していく予定である。

インボイス制度の対応や業務改善を目的として、貸館事業の予約システムの一部を改修した。

#### (3) 建産連駐車場の新たな運営方法について

2022年8月8日から、駐車場の新たな運営方法を開始しており、現在まで大きなトラブルは発生していない。

## 5. 法人事業

### (1) 法人の運営に係る各種会議の開催

法人の運営に係る各種会議の開催や、全国組織との連携を図った。

#### ① 第44回通常総会の開催

6月15日に前年度事業報告、会計収支決算、本年度事業計画、会計の収支予算、役員を選任等について決議、承認した。

#### ② 監事監査の実施（5月10日）

#### ③ 理事会の開催

##### ア 第1回理事会（5月26日）

前年度事業報告及び会計収支決算等について協議

##### イ 第2回理事会（12月5日）

本年度事業の実施状況・補正予算について協議

##### ウ 第3回理事会（3月28日）

本年度事業報告・収支決算見込、次年度事業計画・収支予算、通常総会日程について協議

### (2) 専門委員会の開催

#### ① 広報委員会（4月25日、7月25日、10月23日、1月29日）

#### ② 総務委員会（7月18日）

#### ③ 研修指導委員会（8月3日）

#### ④ 経営改善委員会（11月1日）

### (3) 会員団体及び関係団体との連携

#### ① 会員団体から要請を受け、催事の共催を行った。

ア『卒業設計コンクール』（4月23日審査 主催：（一社）埼玉建築設計監理協会）

イ『建設業経営講習会』（8月2日 主催：（一社）埼玉県建設業協会）

#### ② 委託関係団体の意見交換会

委託関係団体から要請を受け、委託業務に係る最低制限価格制度について、意見交換を行った。

意見交換会（8月29日、11月22日、2月28日）

メンバー：建産連会員6団体の会長等 賛同団体2団体の会長

また、委託業務に係る最低制限価格制度を導入していない市町村や設定レベルが低い市町村等への要望活動を行うとともに、その状況について、記者発表を行った。

郵送：2月22日

記者発表：2月28日（業界紙3社）

#### ③ 連合会ホームページを運用し、国や県等からの各種通知を電子メールにて迅速に情報提供を行った。

#### ④ 会長が、埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センターの副理事長として事業遂行に協力した。

(4) 一般社団法人全国建設産業団体連合会との連携

会長が参加した1 (1) の会議や活動の他、次の活動等を行った。

① 専門工事業委員会

埼玉県型枠工事業協会の白戸修会長が、専門工事業委員会の委員として専門工事業者の処遇改善方策や担い手確保の方策等について検討を行った。

ア 専門工事業委員会 (7月21日、11月10日、3月8日)

イ 関東甲信越ブロック会議 (10月10日)

ウ 全国会議 (12月8日)

② 全国建産連会長表彰

建産連の活動、建設産業の発展に多大な貢献があった方への全国建産連会長表彰があり、当連合会から推薦した飯沼章氏、栗田政明氏の2名が表彰された。

(5) 優秀施工者国土交通大臣表彰 (建設マスター)

建設産業の第一線でものづくりに直接従事している建設技術者の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を国土交通大臣が表彰する「建設マスター」として、当連合会から推薦した1名が表彰された。

(6) 事務局業務について

① 研修事業における助成金等の活用

研修事業等においては、各種機関の助成金事業を活用して展開した。

ア (一財) 建設業振興基金の建設産業活性化助成事業 (ポスター・絵画コンクール)

イ (一財) 建設業振興基金の利子補給助成 (改修工事資金借入)

ウ 厚生労働省埼玉労働局の人材確保支援助成金

エ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構ポリテクセンター埼玉の生産性向上訓練支援事業